

電力系統における給電指令と系統操作調査専門委員会
設置趣意書

電力系統技術委員会

1. 目的

電力システム改革の進展に伴い、電力システムを利用する小売事業者や発電事業者が増加している。また、太陽光発電など自然変動電源の連系増加に伴い電力潮流の不確実性が増している。さらには、電力設備の効率利用に向けた新規電源の連系条件についても検討されている。

このように系統運用がますます複雑化する状況においても電力の安定供給を確保していくため、一般送配電事業者による電力系統の給電指令の役割と確実な系統操作はより重要となってきた。

当調査委員会は電力系統における給電指令と系統操作ならびに運用者支援機能などの現状について調査し取り纏めることで、今後の電力の安定供給や電力品質の維持・向上に資することを目的とする。

2. 背景および内外機関における調査活動

電力系統における系統操作については、電気学会技術報告（Ⅱ部）第107号「電力系統における系統操作」（1981年2月発行）において報告されているが、前回調査から既に36年経過している。また、ICT等の技術革新や、多数かつ多様な電気事業者による電力系統の利用拡大など、給電運用業務を取り巻く環境は大きく変化している。

3. 調査検討項目

- (1) 給電運用体系
- (2) 給電指令と系統操作の概要
- (3) 平常操作（作業停止操作の自動化や誤操作防止対策など）
- (4) 緊急操作（周波数・電圧異常時の対応など）
- (5) 復旧操作（再送電の考え方や自動復旧操作など）
- (6) 系統操作に関する運用者支援機能の現状と今後の展望
- (7) 今後の課題

4. 予想される効果

電力系統における給電指令と系統操作に関する現状を調査し取り纏めることで、今後の電力の安定供給や電力品質の維持・向上に資することが期待できる。

5. 調査期間

平成30年（2018年）6月～平成32年（2020年）5月（2年間）

6. 活動予定

委員会 4回／年程度 作業会 6回／年程度

7. 報告形態

調査結果を「電気学会技術報告」としてとりまとめる。

以 上

委員の公募（学会誌への掲載原稿案）

委員会名 (所属部門) 【技術委員会】	電力系統における給電指令と系統操作 調査専門委員会(仮) (B部門)【電力系統技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要, 委員長のメッセージ等(100字程度) 一般送配電事業者が行っている電力系統における給電指令と系統操作に関する現状について、調査・分析し取り纏めることで、今後の電力の安定供給や電力品質の維持・向上に資することができると考えます。	
設置期間	平成30年6月～平成32年5月		
委員長名(所属)	細川 潤(中部電力株式会社)		
委員会開催頻度	委員会4回/年, 作業会6回/年		
問合・公募 受付先	氏名(所属)		吉松 林太郎(中部電力株式会社)
	電話		052-973-2213
	FAX		052-973-3184
	E-mail アドレス		Yoshimatsu.Rintarou@chuden.co.jp
応募いただきたい方の 専門分野, 経験など	給電運用業務に関する経験のある方、 及び系統操作に関連するシステムに関する知識を有する方		
応募締切	平成30年5月末日		